

広島県省エネ活動促進補助事業採択団体
(平成26～29年度計25件)

団体名	主な事業
竹原市地球温暖化対策地域協議会	緑のカーテンなど
かんきょう会議浮城	省エネリーダー育成
大崎上島けんこう文化の島づくり協議会	環境家計簿
(一社)尾道市公衆衛生推進協議会	環境家計簿など
ひがしひろしま環境家族	省エネ環境学習会
府中町脱温暖化市民協議会	緑のカーテンなど
海田町地球温暖化対策地域協議会	緑のカーテンなど
エコネットひがしひろしま	省エネ人材育成
くれ環境市民の会	くれエコフェスタ
脱温暖化ぬまくまフォーラム	省エネ環境学習会など
TEAM MATEひろしま	環境家計簿
脱温暖化プロジェクトせら	省エネ環境学習会
三次市公衆衛生推進協議会	省エネ環境学習会など
福山北部脱温暖化地域協議会	省エネ環境学習会
脱温暖化福山中央地域協議会	省エネ環境学習会

※その他10団体(まちづくり協議会など)

県内市町及び団体の省エネ活動を支援
公衛協・TEAMが積極的に活用



庄原太陽光発電所(2千529kWh)

広島県の平成24年度の二酸化炭素排出量は、民生(家庭)部門のみが増加しています。そこで広島県では、具体的な施策として、地域ぐるみの省エネ活動を支援するため、県と中国電力グループで運営するメガソーラーの売電収益を原資として、省エネ活動促進補助事業を実施することとしました。最大50万円/年、最長3年間補助)4年目を迎えたこの事業について、各団体のご協力によりそれぞれ成果が形となりつつある一方で、課題も明らかとなりました。

そこで、この事業の現状・課題について県民の皆さまにお伝えします。

趣旨

広島県の省エネ活動促進補助事業の現状・課題について



このコーナーでは、【買い替え】、【サービス】、【ライフスタイル】の3つの視点で、さまざまなクールチョイスの事例を紹介します。

- 【買い換え】省エネで高効率な家電、設備、建築物の低炭素製品への買い替えなど
- 【サービス】公共交通の利用やエコレールマークの付いた商品、グリーン電力の選択やスマートメーターによる「見える化」につながる低炭素サービスの選択など
- 【ライフスタイル】家庭でのエネルギー消費量・二酸化炭素排出量を減らす取り組みやエコドライブなど

【ライフスタイル】(オール電化と新利用)



西城地区で20年近く会長、副会長を続け、この度、市公衛協の会長を引き継ぎました。普段は主に農業をやっています。自宅のオール電化はお風呂を工夫し、従来の新利用と温水器の両方で給湯できるようにしています。地域特性上、移動は車が中心ですが、燃費のよい軽自動車を使っています。

地元では小学校の児童と一緒に、廃材を使って環境ポスター作品を収める木枠作成に取り組み、15年になります。リーダーが活動を活性化するためには、1つでも継続できる「何か」を見つけることが重要だと考えます。(高原 芳典さん/庄原市公衆衛生推進協議会会長)

公衛協、TEAMで活躍されているみなさんと、環保協の役職員が日頃取り組んでいる「私のクールチョイス」を紹介します。

【買い換え】(住宅性能評価を受けた高断熱マンションへの住み替え)



大学を退職し、現在は広島市の地球温暖化対策地域協議会の活動、特にうちエコ診断に注力しています。退職後、住宅性能評価を受けた高断熱マンションへ転居し、光熱費が以前住んでいた住宅の50%減となり、断熱性の重要性を再認識しました。

温暖化対策には仲間がまだまだ足りません。適材適所、得意分野を活かせる仲間づくりのため、公衛協、行政との連携を強化中です。正しい知識で無理なく無駄を省き、みんなでCO2削減に取り組みましょう。

(篠原 道正さん/広島市地球温暖化対策地域協議会会長・広島工業大学名誉教授)

【ライフスタイル】(公共交通機関の利用)

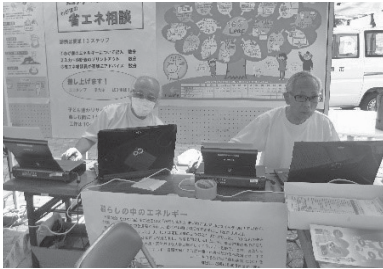


自家用車の利用を控え、移動は公共交通機関を利用、冬場は1枚多めに着て調整できるように心がけています。また、買い物にはマイバッグを持参、不要な照明や冷暖房をこまめに消す、洗濯は残り湯を利用などが習慣になっています。テレビを買換えた時は、画質重視で省エネ性能を特に意識していなかったのが、洗濯機の購入の際はぜひ注目したいと思います。

当協会では、クールチョイスの取り組みが浸透してきました。あなたの職場でも、ぜひ「クールチョイス」を話題にしてみてください。

(中元 啓三さん/一般財団法人広島県環境保健協会常務理事)

主な成果・課題



省エネ診断の依頼も増加

各団体において着実に補助事業が実施されています。特に平成28年度は、くれ環境市民の会が実施した、「くれエコフェスタ」の参加者が過去最高の6千500人に達して省エネ診断の依頼件数が増加。また、海田町地球温暖化対策地域協議会において、『緑のカーテン』の参加者が過去最高の839人となるなど、大きな成果がありました。



『緑のカーテン』の参加者が過去最高の839人となるなど、大きな成果がありました。地域ぐるみで活動を実践したり、地域の環境課題を解決するためには、地球温暖化防止活動推進員の皆さまをはじめとする地域リーダーを中心に、地域の多様な主体が連携・協

働して取り組むことが必要ですが、両団体の取り組みは、まさに好事例と言えます。一方、各補助団体に共通した課題として、補助事業の着実な取り組みを地域の方々の日常生活における行動変容につなげていく必要があります。このような課題に対応するためにも、今後は、平成29年度から開始しております「家庭における省エネ行動促進事業」(広島県専用サイトへの登録と実践活動支援、うちエコ診断の受診)との層の連携をお願いいたします。(広島県環境県民局 環境政策課)

広島県省エネ活動促進事業の補助メニュー

- 県内市町および団体が行う地域ぐるみの省エネ活動を支援
- 最大50万円/年(最長3年間)の補助を実施

補助対象経費は下記のとおり。

- ①謝金・賃金・旅費
外部講師の謝金、アルバイトの賃金、外部講師の旅費
- ②事業費(物品・使用料等)
学習会で使用する教材費(LED電球、プリンター等)、構成員・参加者の保険料、会場使用料、機材レンタル料、バスの借り上げ経費等
- ③事務管理費
文房具、コピー用紙等

※詳細は、下記の事前相談窓口にご照会下さい。

広島県省エネ活動促進補助金の事前相談窓口

担当部局:広島県環境県民局環境政策課
環境活動推進グループ

電話: 082-513-2952 FAX: 082-227-4815

E-mail: kankansei@pref.hiroshima.lg.jp

※お問合せは業務時間内(土日祝日を除く8時30分～12時00分または13時00分～17時15分)にお願いします。